

専 門 問 題

令和4年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は試験区分ごとに**5題**あります。そのうち**3題**を選択して解答してください。
3. 解答時間は**2時間**です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された**注意**をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、**解答用紙は絶対に持ち帰らないでください**。
6. 問題のページは、次のとおりです。

林業	・・・1ページ
環境検査	・・・2ページ～3ページ
畜産	・・・4ページ
水産	・・・5ページ
造園	・・・6ページ
心理	・・・7ページ
福祉 A	・・・8ページ
衛生監視	・・・9ページ
栄養士	・・・10ページ～11ページ
獣医	・・・12ページ～13ページ
薬剤 A・B	・・・14ページ～21ページ

林業

〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

〔1〕 「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」に関する次の問いに答えよ。

- (1) 森林環境税及び森林環境譲与税を創設した趣旨を述べよ。
- (2) 市町村（特別区を含む）及び都道府県における森林環境譲与税の用途について、それぞれ述べよ。

〔2〕 森林（林分）の調査法を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

〔3〕 再造林の低コスト化に関する次の問いに答えよ。

- (1) 低コスト化の必要性について、背景を踏まえて説明せよ。
- (2) 低コスト化につながる方法を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

〔4〕 森林整備を行うための路網に関する次の問いに答えよ。

- (1) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 林道
 - (イ) 林業専用道
 - (ウ) 森林作業道
- (2) 森林作業道の計画に当たり留意すべきことを六つ挙げよ。

〔5〕 次の語句について説明せよ。

- (1) セルロースナノファイバー
- (2) 水循環

環境検査

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

〔1〕 イオン化エネルギーに関する次の問いに答えよ。

- (1) 1族元素では、周期表の下にいくに従い、第一イオン化エネルギーは減少する傾向にある。その理由を述べよ。
- (2) 主要族元素では、周期表の右にいくに従い、第一イオン化エネルギーは増加する傾向にあるが、次の(ア)、(イ)については第一イオン化エネルギーが減少する。その理由をそれぞれ述べよ。
(ア) Be から B
(イ) N から O

〔2〕 有機化合物の反応に関する次の問いに答えよ。

- (1) E1 反応及び E2 反応のそれぞれについて、ポテンシャルエネルギーを縦軸に、反応の推移を横軸にした反応座標（反応のエネルギー図）を描け。なお、原系、遷移状態、中間体、生成系を明示すること。
- (2) E1 反応及び E2 反応のそれぞれについて、反応速度を濃度式で表せ。

〔3〕 滴定に関する次の問いに答えよ。

- (1) 滴定が成り立つために必要な条件を五つ挙げよ。
- (2) 逆滴定及び置換滴定について、それぞれ説明せよ。
- (3) 工場排水10mL に水を加えて100mL とし、 COD_{Mn} を測定したところ、5 mmol/L 過マンガン酸カリウム溶液の滴定値は4.6mL であり、空試験の滴定値は0.1mL であった。過マンガン酸カリウム溶液のファクターが1.01のとき、工場排水の COD_{Mn} を求めよ。ただし、希釈する水は JIS K0557 に規定する A4 の水であり、計算の過程も示すこと。

環境検査

- 〔4〕 真核細胞の細胞周期に関する次の問いに答えよ。
- (1) 細胞周期を四つの時期に分け、それぞれ説明せよ。
 - (2) 細胞周期にみられる「チェックポイント」を三つ挙げ、それぞれチェックする内容を説明せよ。
 - (3) 一般的にがん細胞が増殖する際の特徴について、細胞周期の観点から説明せよ。
- 〔5〕 生態学に関する次の問いに答えよ。
- (1) 二者間における種間相互作用を三つ挙げ、それぞれについて二者間の利害関係を説明せよ。
 - (2) キーストーン種及びアンブレラ種について、それぞれ説明せよ。
 - (3) 生存曲線の型を三つ描き、それぞれの特徴を説明せよ。

畜産

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 ウシの受精卵移植（胚移植）に関する次の問いに答えよ。
- (1) 受精卵移植について説明した上で、人工授精（A I）に比べて優れている点を述べよ。
 - (2) 体内受精胚を用いる技術及び体外受精（I V F）技術についてそれぞれ説明した上で、体内受精胚を用いる場合と比べ体外受精が有利な点を述べよ。
- 〔2〕 家畜防疫及び家畜伝染病予防法に関する次の問いに答えよ。
- (1) 家畜防疫の原則を三つ挙げよ。
 - (2) 家畜伝染病予防法の目的を述べよ。
 - (3) 家畜伝染病予防法における法定伝染病及び届出伝染病について、それぞれ説明せよ。
 - (4) 法定伝染病のうち、人獣共通感染症（ズーノーシス）を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。
- 〔3〕 粗飼料に関する次の問いに答えよ。
- (1) 粗飼料について、長所に言及して説明せよ。
 - (2) 次の粗飼料の特徴について説明せよ。
 - (ア) 生草（青刈飼料）
 - (イ) 乾草
 - (ウ) サイレージ
- 〔4〕 生物多様性に関する次の問いに答えよ。
- (1) 生物多様性を三つの階層（レベル）に分類し、それぞれ説明せよ。
 - (2) ミレニアム生態系評価において分類される四つの生態系サービスのうち、全体を支える基盤サービス以外のサービスを三つ挙げ、それぞれ説明せよ。
- 〔5〕 動物の組織を四つに分類し、それぞれ説明せよ。

水産

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 平成30年12月に成立し、令和2年12月に施行された「漁業法等の一部を改正する等の法律」に関する次の問いに答えよ。
- (1) 「漁業法等の一部を改正する等の法律」の改正の趣旨について説明せよ。
 - (2) 漁業法の改正の概要について説明せよ。
- 〔2〕 魚類の性決定について説明せよ。
- 〔3〕 藻場の回復技術について説明せよ。
- 〔4〕 栽培漁業に関する次の問いに答えよ。
- (1) 栽培漁業の概要について説明した上で、栽培漁業の工程を述べよ。
 - (2) 栽培漁業における放流効果の調査方法について説明せよ。
 - (3) 栽培漁業の事業効果の評価手法について説明した上で、栽培漁業の直接的な効果や副次的な効果を述べよ。
- 〔5〕 水産海洋モニタリングに関する次の問いに答えよ。
- (1) 水産海洋モニタリングの目的について説明せよ。
 - (2) 水産海洋モニタリングの基本項目を三つ挙げ、それぞれ説明せよ。

造園

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 造園植物に関する次の問いに答えよ。
- (1) 落葉針葉樹の樹種を三つ挙げよ。
 - (2) 冬季に果実を観賞できる雌雄異株の樹種を四つ挙げよ。
 - (3) 造園樹木として具備すべき条件（特性）を五つ挙げ、それぞれ説明せよ。
- 〔2〕 公園に関する次の問いに答えよ。
- (1) 営造物公園について説明した上で、都内における具体例を四つ挙げよ。
 - (2) 地域制公園について説明した上で、都内における具体例を四つ挙げよ。
- 〔3〕 公園の計画・設計・管理運営に関する次の問いに答えよ。
- (1) ユニバーサルデザインによる公園づくりを進めるための基本的な考え方について説明せよ。
 - (2) 防災公園における公園施設の例を三つ挙げ、求められる機能や配慮事項について、それぞれ説明せよ。
- 〔4〕 日本の庭園に関する次の問いに答えよ。
- (1) 日本庭園に関する次の語句について説明し、それぞれ代表事例を一つ挙げよ。
 - (ア) 枯山水庭園
 - (イ) 借景
 - (2) 浜離宮恩賜庭園及び小石川後樂園について、それぞれの歴史及び特徴を説明せよ。
- 〔5〕 生物多様性に関する次の問いに答えよ。
- (1) 生物多様性の四つの危機について、それぞれ説明せよ。
 - (2) 「環境省レッドリスト2020」及び「東京都レッドリスト（本土部）2020年版」の両方に記載されている、絶滅のおそれがある植物種を四つ挙げよ。
 - (3) 雑木林の更新手法及び更新に関する課題について説明せよ。

心 理

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 うつ病に関する次の問いに答えよ。
- (1) 主な症状について説明せよ。
 - (2) うつ病の治療及び支援について、心理職の役割に言及して説明せよ。
- 〔2〕 自閉スペクトラム症に関する次の問いに答えよ。
- (1) 自閉スペクトラム症の特徴について、ウィング（Wing,L）の3兆候に言及して説明せよ。
 - (2) 自閉スペクトラム症の児童の支援について説明せよ。
- 〔3〕 心理テストの妥当性に関する次の語句について説明せよ。
- (1) 内容的妥当性（内容妥当性）
 - (2) 基準関連妥当性
 - (3) 構成概念妥当性
- 〔4〕 次の語句について説明せよ。
- (1) 共同注意
 - (2) ダウン症候群
 - (3) 選択性（場面）^{かん}緘黙
- 〔5〕 次の語句について説明せよ。なお、(1)及び(2)については、二つの語句をそれぞれ対比的に説明せよ。
- (1) 錐体・^{かん}桿体
 - (2) 結晶性知能・流動性知能
 - (3) 錯誤相関

福祉 A

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 生活困窮者自立支援法における生活困窮者自立支援制度に関する次の語句について説明せよ。
- (1) 必須事業
 - (2) 任意事業
 - (3) 就労訓練事業の認定
- 〔2〕 シュワルツの提示した相談援助におけるグループワークの展開過程について説明せよ。
- 〔3〕 障害者虐待防止法に関する次の問いに答えよ
- (1) 本法律の正式名称を挙げ、本法律の目的を説明せよ。
 - (2) 本法律における「障害者」、「障害者虐待」及び「障害者虐待の類型」の定義について、それぞれ説明せよ。
- 〔4〕 子供の発達に関する次の問いに答えよ。
- (1) ボウルビィによる愛着理論の概要を説明した上で、愛着の発達段階について説明せよ。
 - (2) ピアジェによる認知発達理論における発達段階について説明せよ。
- 〔5〕 次の社会学者が提唱した社会集団の類型について説明せよ。
- (1) フェルディナント・テンニース
 - (2) ロバート・M・マッキーヴァー

衛生監視

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

- 〔1〕 生又は生に近い状態の食肉を食べることで起こる細菌性食中毒の原因となる代表的な微生物を二つ挙げ、それぞれについて微生物の特徴、食中毒の潜伏期間、症状及び予防方法を説明せよ。
- 〔2〕 食品衛生法に基づく食品添加物に関する次の問いに答えよ。
- (1) 食品添加物の使用目的を述べた上で、食品添加物の安全性を確保するための厚生労働省の取組について説明せよ。
 - (2) 食品添加物の分類を四つ全て挙げ、それぞれ説明せよ。
- 〔3〕 食品衛生法の改正に基づき制度化された「HACCP に沿った衛生管理」に関する次の問いに答えよ。
- (1) 「HACCP に沿った衛生管理」について説明せよ。
 - (2) 「HACCP に沿った衛生管理」を支援するための都の取組について説明せよ。
- 〔4〕 アスベスト（石綿）に関する次の問いに答えよ。
- (1) アスベストの種類（石綿名又は鉱物名）、アスベストに関する主な関係法令の名称を述べよ。
 - (2) アスベストの特徴、用途について説明せよ。
 - (3) アスベストによる健康被害について説明せよ。
- 〔5〕 水道水に関する次の問いに答えよ。
- (1) 水道法第4条に基づく水質基準、水質管理目標設定項目、要検討項目について、概要を説明せよ。
 - (2) 硝酸態窒素、亜硝酸態窒素について説明せよ。
 - (3) 遊離残留塩素、結合残留塩素について説明せよ。

栄養士

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

〔1〕 腎臓及び体液に関する次の問いに答えよ。

- (1) ネフロン構造及び機能について、それぞれ説明せよ。
- (2) レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系について説明せよ。
- (3) 腎臓における酸塩基平衡の異常について病態を全て挙げ、その原因疾患に言及してそれぞれ説明せよ。

〔2〕 免疫系に関する次の問いに答えよ。

- (1) I型（即時型）アレルギーの反応機序について説明せよ。
- (2) B細胞（Bリンパ球）及びT細胞（Tリンパ球）について、両細胞の違いに言及して説明せよ。
- (3) 免疫グロブリンの基本構造を説明した上で、免疫グロブリンの種類を全て挙げよ。

〔3〕 高血圧症に関する次の問いに答えよ。

- (1) 二次性高血圧症の原因を二つ挙げよ。
- (2) 「高血圧治療ガイドライン」に示されている「生活習慣の修正項目」について説明せよ。

〔4〕 「日本人の食事摂取基準（2020年版）」に関する次の問いに答えよ。

- (1) 2015年版からの主な改定のポイントを二つ挙げよ。
- (2) 次の語句について説明せよ。
 - (ア) 推定平均必要量
 - (イ) 推奨量
 - (ウ) 目安量
 - (エ) 耐容上限量
 - (オ) 目標量

栄養士

- 〔5〕 黄色ブドウ球菌食中毒に関する次の問いに答えよ。
- (1) 黄色ブドウ球菌の特徴について説明せよ。
 - (2) 黄色ブドウ球菌食中毒の主な汚染源及び日本の主な原因食品をそれぞれ一つ挙げよ。
 - (3) 黄色ブドウ球菌食中毒の潜伏期間及び症状について、それぞれ説明せよ。
 - (4) 黄色ブドウ球菌食中毒の予防対策について説明せよ。

獣 医

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

〔1〕 家畜伝染病予防法で規定する次の疾病について、原因菌とその特徴、疫学・臨床症状及び確定診断について説明せよ。

- (1) 腐^ふ蛆^{そびょう}病
- (2) 気^き腫^{しゅ}疽^そ
- (3) 豚^{とん}丹^{たん}毒^{どく}

〔2〕 動物が死亡した後に示す現象である死後変化（死体現象）に関する次の問いに答えよ。

- (1) 自己融解及び死後硬直について、それぞれ説明せよ。
- (2) 死斑及び死冷について、それぞれ説明せよ。
- (3) 死後凝血、腐敗及び乾燥について、それぞれ説明せよ。

〔3〕 牛の胃（複胃）に関する次の問いに答えよ。

- (1) 第一胃の解剖学的な特徴について説明せよ。
- (2) 第一・二胃運動について説明せよ。
- (3) 第一胃内発酵による炭水化物の消化について説明せよ。

〔4〕 動物由来感染症に関する次の問いに答えよ。

- (1) Schwabe による四類型を全て挙げ、それぞれ説明せよ。
- (2) 次の感染症について、病原体を挙げ、ヒトへの感染経路、ヒトの症状・診断・予防・治療をそれぞれ説明せよ。
 - (ア) オウム病
 - (イ) パスツレラ症

獣 医

〔5〕 炎症に関する次の問いに答えよ。

- (1) 五大徴候を全て挙げよ。
- (2) 形態学的分類を八つ挙げ、それぞれの特徴について簡潔に説明せよ。
- (3) アスピリンにおける次の作用機序について説明せよ。
 - (ア) 抗炎症作用
 - (イ) 血小板凝集抑制作用

薬剤 A・B

次の〔1〕～〔5〕の5題のうちから3題選択のこと

〔1〕 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に関する次の問いに答えよ。

第五十二条 医薬品（次項に規定する医薬品を除く。）は、その ① 又は ② に、電子情報処理組織を使用する方法その他の ③ の技術を利用する方法であつて厚生労働省令で定めるものにより、第六十八条の二第一項の規定により公表された同条第二項に規定する ④ 等情報を入手するために必要な ⑤ 、 ⑥ その他の ⑦ が記載されていなければならない。ただし、厚生労働省令で別段の定めをしたときは、この限りでない。

(1) 上の文章の空欄①～⑦に当てはまる語句を下の語群から選んで答えよ。

〔語群〕 容器、包装、被包、入れ物、うつわ、インターネット、情報通信、ICT、重要事項、注意事項、禁止事項、記号、符号、符牒、^{ちょう}識別ナンバー、番号、デジタルID

(2) 下線部「次項に規定する医薬品」に該当し、引き続き紙の添付文書等による情報提供が行われる医薬品を一つ挙げよ。

(3) 空欄⑦として記載されるコードを答えよ。

(4) 添付文書の電子化に対応した医療従事者向けのアプリケーションの名前を答えよ。

薬剤A・B

〔2〕 日本で行われている主な予防接種に関する次の問いに答えよ。

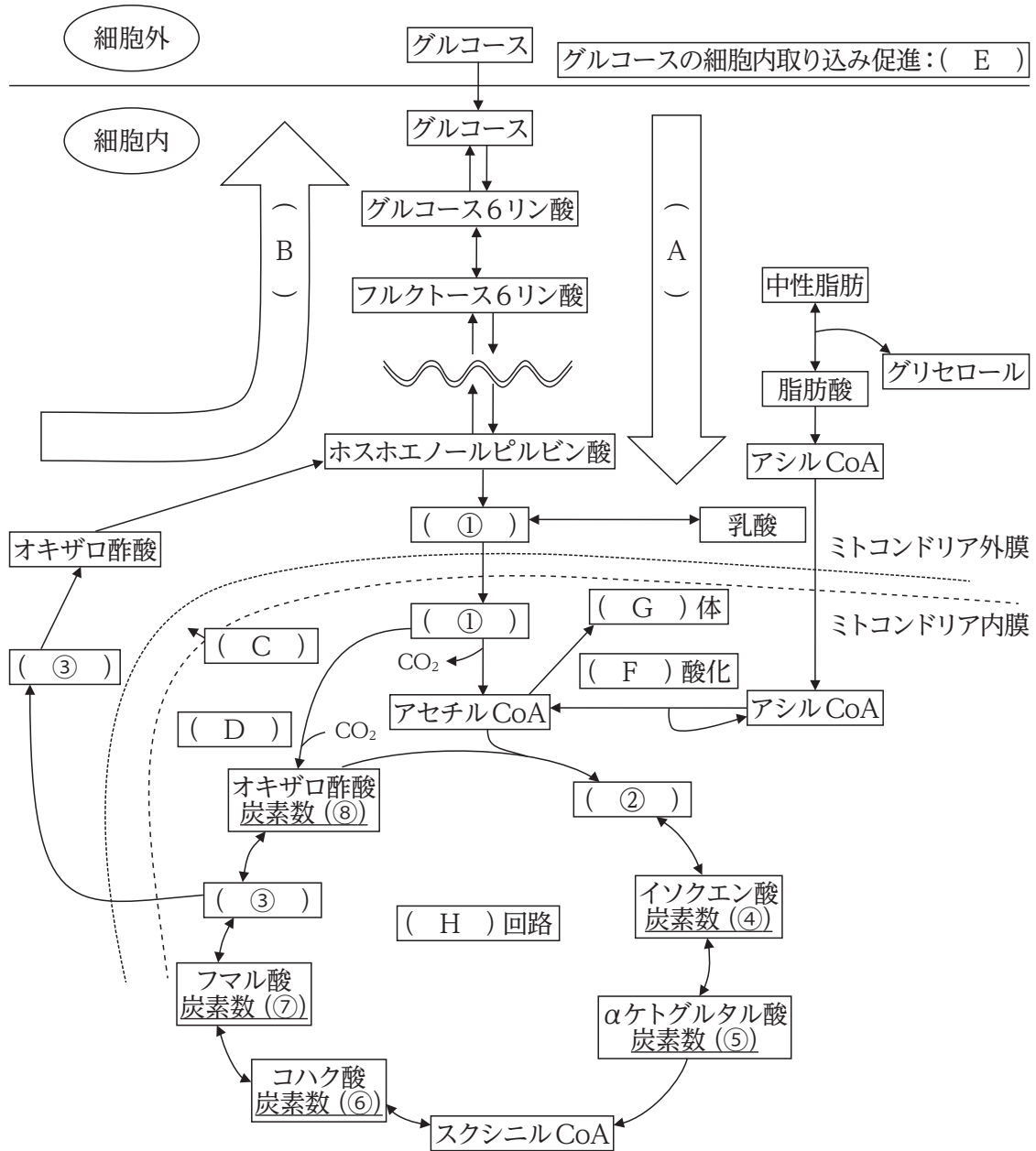
疾患	病原体	ワクチン	ワクチンの種類	小児の定期接種の有無
結核	結核菌	(③)	⑥	A
急性灰白髄炎	ポリオ	ポリオ (経口)	⑦	B
		ポリオ (IPV)	⑧	C
はしか	麻疹ウイルス	麻疹風疹混合ワクチン (MR ワクチン)	⑨	D
風疹	風疹ウイルス			
水ぼうそう	水痘帯状疱疹ウイルス	水痘ワクチン	⑩	E
日本脳炎	日本脳炎ウイルス	日本脳炎ワクチン	⑪	F
インフルエンザ菌 b型感染症	インフルエンザ菌 b型	(④)	⑫	G
侵襲性肺炎球菌感染症	肺炎球菌	(⑤) 価肺炎球菌結合型ワクチン	⑬	H
		23価肺炎球菌多糖体 (ポリサッカライド) ワクチン	⑭	I
B型肝炎	B型肝炎ウイルス	B型肝炎ワクチン	⑮	J
小児の急性胃腸炎	(①)	(①) ワクチン	生ワクチン	有
おたふくかぜ	ムンプスウイルス	おたふくかぜワクチン	⑯	K
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	インフルエンザワクチン	⑰	L
子宮頸がん	(②)	子宮頸がんワクチン	⑱	M

- (1) 上の表の①及び②に当てはまる病原体を答えよ。
- (2) 上の表の③及び④に当てはまるワクチンを答えよ。
- (3) 上の表の⑤に当てはまる数字を答えよ。
- (4) 上の表の⑥～⑱について、生ワクチンと不活化ワクチンのどちらに該当するかそれぞれ分類せよ。
(解答例：生ワクチン－⑯⑳…… 不活化ワクチン－㉑㉒……)
- (5) 上の表のワクチンのうち、小児の定期接種*の有るものをA～Mの記号で四つ答えよ。

※小児の定期接種とは、予防接種法に基づき予防接種を受けることが勧められ、行政の費用負担による予防接種のうち、一定の年齢において接種を受けることとされているもの

薬剤 A・B

〔3〕 糖代謝と脂質代謝に関する次の問いに答えよ。



薬剤 A・B

- (1) 前ページの図の①～③に当てはまる分子名を答えよ。
- (2) 前ページの図の④～⑧に当てはまる、それぞれの分子を構成する炭素原子の数を答えよ。
- (3) 次の文章は、前ページの図のA～Hについて記載したものである。空欄A～Hに当てはまる語句を答えよ。
- ・グルコースから前ページの図の①までの反応を という。
 - ・乳酸から前ページの図の①を経てグルコース産生に代表される反応を という。
 - ・ミトコンドリア外膜と内膜の間を 、内膜の内側を という。
 - ・細胞外から細胞内へのグルコース（血糖）の取り込みやグリコーゲン合成を促進するホルモンを という。
 - ・飢餓状態で亢進する中性脂肪からエネルギーを産生する反応で、脂肪酸から炭素原子2個のアセチル CoA を生じるミトコンドリアの で行われる反応を 酸化という。さらに長期間の絶食による飢餓状態で過剰に産生されたアセチル CoA から変換される物質を 体という。
 - ・ミトコンドリアの で行われるアセチル CoA とオキサロ酢酸の結合から開始する一連の反応を 回路（サイクル）という。
- (4) 飢餓状態時に行われる代謝と同様の発生機序で起こり、血液中に 体が増加する主に1型糖尿病患者に急性発症する合併症を答えよ。
- (5) 糖尿病治療薬のうち を抑制する経口血糖降下薬の種類と、これらの薬剤に共通で特有の重篤な副作用を答えよ。

薬剤 A・B

〔4〕 地域連携薬局に関する次の問いに答えよ。

- (1) 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(以下「薬機法」という。) 第六条の二第1項で規定する地域連携薬局の認定を行う者を下の語群から選んで答えよ。

〔語群〕 厚生労働大臣、都道府県知事、保健所設置市の市長、
特別区の区長、保健所長

- (2) 薬機法第六条の二第4項で規定する地域連携薬局の認定の効力を失う期間(有効期間)を答えよ。

- (3) 薬機法施行規則第十条の二で規定する地域連携薬局の基準等について、次の文章の空欄①～⑩に当てはまる語句又は数字を答えよ。

第1項 ～省略～

第2項 ～省略～

- 一 薬局開設者が、過去1年間において、当該薬局において薬事に関する実務に従事する薬剤師を、介護保険法第百十五条の四十八第1項に規定する会議その他の システムの構築に資する会議に継続的に参加させていること。

二 ～省略～

- 三 薬局開設者が、過去1年間において、当該薬局において薬事に関する実務に従事する薬剤師に利用者の薬剤及び医薬品の使用に関する情報について地域における医療機関に勤務する薬剤師その他の医療関係者に対して月平均 回以上報告及び連絡させた実績があること。

四 ～省略～

第3項 ～省略～

- 一 外であつても、利用者からの薬剤及び医薬品に関する相談に対応する体制を備えていること。

- 二 休日及び であつても、調剤の求めがあつた場合には、地域における他の薬局開設者と連携して対応する体制を備えていること。

三 ～省略～

- 四 薬局開設者が、麻薬及び向精神薬取締法第二条第一号に規定する麻薬の

薬剤A・B

調剤に応需するために同法第三条第1項の規定による〔5〕の免許を受け、当該麻薬の調剤の求めがあつた場合には、当該薬局において薬事に関する実務に従事する薬剤師に当該薬局で調剤させる体制を備えていること。

五 〔6〕製剤処理を実施できる体制（第十一条の八第1項ただし書の規定により他の薬局の〔6〕調剤室を利用して〔6〕製剤処理を実施する体制を含む。）を備えていること。

六 ～省略～

七 当該薬局に常勤として勤務している薬剤師の〔7〕数以上が、当該薬局に継続して〔8〕年以上常勤として勤務している者であること。

八から十 ～省略～

第4項 ～省略～

一 居宅等（薬剤師法第二十二条に規定する居宅等をいう。）における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導について、過去1年間において月平均〔9〕回以上実施した実績があること。（ただし以下省略）

二 〔10〕又は特定保守管理医療機器の販売業の許可を受け、訪問診療を利用する者に対し必要な医療機器及び衛生材料を提供するための体制を備えていること。

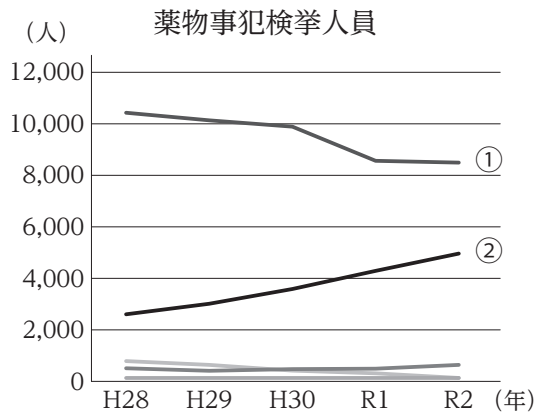
薬剤 A・B

【5】 次の問いに答えよ。

(1) 昨年4月に警察庁が発表した「令和2年における組織犯罪の情勢」に関する次の問いに答えよ。

(ア) 下のグラフは、薬物事犯別検挙人員の推移であるが、①及び②に当てはまる事犯名を下の語群から選んで答えよ。

〔グラフ〕



〔語群〕

麻薬及び向精神薬事犯
覚醒剤事犯
あへん事犯
大麻事犯
危険ドラッグ（指定薬物）事犯

(イ) 令和2年における大麻事犯検挙人員に関する次の問いに答えよ。

(a) 大麻事犯検挙人員が1番多い年齢層を下の年齢層から選んで答えよ。

〔年齢層〕 20歳未満、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50歳以上

(b) 大麻事犯検挙人員のうち、29歳以下の構成比率について、下の構成比率から最も近いものを選んで答えよ。

〔構成比率〕 10%、20%、30%、40%、50%、60%、70%

(ウ) 令和2年における覚醒剤事犯の再犯者率について、下の再犯者率から最も近いものを選んで答えよ。

〔再犯者率〕 10%、20%、30%、40%、50%、60%、70%

薬剤 A・B

(2) 大麻取締法等に関する次の問いに答えよ。

(ア) 大麻取締法第一条で規定する大麻の定義について、次の文章の空欄③及び④に当てはまる語句を答えよ。

この法律で「大麻」とは、大麻草（カンナビス・サティバ・エル）及びその製品をいう。ただし、大麻草の成熟した 及びその製品（樹脂を除く。）並びに大麻草の 及びその製品を除く。

(イ) 令和3年1月から同年6月に厚生労働省が開催した「大麻等の薬物対策のあり方検討会」で議論され、新聞等でも報道された大麻に関する規制等について、次の問いに答えよ。

(a) 大麻取締法は、麻薬及び向精神薬取締法や覚醒剤取締法と違い、大麻の取扱いについて、禁止及び罰則がない行為がある。その行為を答えよ。ただし、大麻取締法第三条第1項の「又は」以下、及び第2項、並びにその罰則、製造を除く。

(b) 疾病の治療の目的のため一部の外国では認められているが、日本では禁止されている大麻取締法第四条第1項第二号で定められている内容を答えよ。

(ウ) 大麻由来成分について、次の問いに答えよ。

(a) 幻覚等の作用を起こす物質の通称名（略名）はTHCであるが、一般名を答えよ。

(b) CBDの一般名を答えよ。

(3) 都では、薬物の乱用を防止するための総合的な計画を策定（平成31年3月改定）しているが、その計画名を答えよ。